

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	海外テーマ特化型研修 カリフォルニア大学デービス校オンラインプログラム (GAIC)
所 属	商学部 商学科 2 年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>本プログラムを通して SDGs に関連した世界共通の課題やその解決に向けた取り組みについて深く学ぶことができました。SDGs に関する授業に加え、アメリカの社会や文化について学ぶ授業や異文化間のコミュニケーションに関する授業を通してアメリカで現在起きている社会問題や日本の英語教育ではあまり触れられないコロケーション等の実用的な英語について学ぶことができました。これらの授業での学びを最大化するために、毎回の授業へは予習や復習にしっかりと取り組み、授業中は積極的に発言しました。その結果、学んだことを通して自分の考え方の幅が広がり、キャリアに対する意識にも良い変化が起こったと思います。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>現地の学生との交流の機会は 2 つありました。一つ目は異文化間コミュニケーションの授業内での会話練習の時間です。週に 4 時間ある授業のうち、1 時間は UC Davis 学生がアシスタントとして参加し、5~6 人グループでの会話をサポートしてくれました。会話内容は自由で、カリフォルニアでの生活、UC Davis の大学生活など様々でした。日本とアメリカの違いや共通点を知ることができました。二つ目は、土曜日の昼のカンパセーションクラブです。ブレイクアウトルームで 1 グループ 8~9 人程度で 1 人の UC Davis の学生を交えて 50 分間会話をしました。趣味や好きなものについて話し、ネイティブスピーカーとの会話で実用的な会話表現を身につけられました。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>メリットは、勉強に集中できることです。自宅から参加するので、移動時間や娯楽施設などがなく、学習に多くの時間を割くことが出来ました。予習や課題、復習に力を入れられたため、より授業の理解が進んだと思います。クラスメイト同士の交流が少ないのではないかと懸念していましたが、授業は基本的にディスカッションが多く、毎週 2~3 人でプレゼンテーションをするため、その準備などでお互いを知る機会が多いので、期待以上に仲良くなれて良かったです。</p> <p>デメリットは、現地の雰囲気を感じられないことです。先生がキャンパス内外の写真を時々共有してくれたときは少し雰囲気を感じられましたが、留学している感覚はあまりありませんでした。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>プログラム参加前は、SDGs や社会問題の解決に興味があり、理解を深めたいという思いで参加を決めました。プログラムを通して、環境問題だけでなく、貧困や持続可能な街作り、ジェンダー平等について学んでいくうちに、少しずつ自分の視野が広がり、環境問題以外の世界共通の課題に対しても関心が高まりました。特にジェンダーの不平等がより自分事になり、ジェンダーに対する意識が大きく変わりました。キャリアを通して、ジェンダーやその他のあらゆることに対して差別や偏見のない誰もが自由に生きられる社会を創りたいと思うようになりました。</p>	

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	カリフォルニア大学デービス校オンラインプログラム
所 属	商学部 商学科 2年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)	
<p>このプログラムでは、SDGs や様々な社会問題について英語で学習した。また、英語でのコミュニケーションの仕方や、英語でのプレゼンテーションの仕方などについても学んだ。SDGs の授業では、主に、貧困、持続可能な都市や地域、消費や生産、ジェンダー平等などの問題を取り扱った。記事を読んだり、先生の話の聞いたりして理解を深め、その後、学生との 1 対 1 の会話や、ディスカッションを通して、現状や問題解決の方法について意見交換を行った。私は、これまで英語を話す機会がほとんどなく、自分の意見や考えを英語で相手に伝えることになかなか苦戦した。しかし、プログラム参加前と比べると、自分の言いたいことを英語で表現できるようになったと思う。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)	
<p>授業以外では、週に 1 度、Conversation club という活動があった。これは、現地の学生や、プログラム参加者と約 1 時間コミュニケーションをとることができる活動である。Zoom を使用し、現地の学生 1 人と、自分を含めたプログラム参加者 10 人程度でグループを構成し、会話やゲームを行った。他のプログラム参加者や先生と比べ、現地の学生が話す英語はかなり速く、聞き取れないことも多くあった。ネイティブが実際に話すスピードで英会話することができたのは、良い経験になった。また、同じ年代の現地生徒との会話を通して、日本にはないアメリカ特有の興味深い文化を知ることができ、面白かった。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)	
<p>メリットは、実留学に比べてお金がかからないことと、実留学に比べ気軽に参加できるという点である。実際に現地に行くことはないため、宿泊費や交通費などが必要ない。そのため、実留学よりも金銭的負担が少ない。また、金銭的負担に加え、時間的負担も少ない。毎日約 4 時間、自宅から受講するため、その他の時間は自由に使うことができる。課題とうまく付き合うことができれば、授業後にアルバイトや外出も可能である。実留学と比べ、自分の生活にあまり影響を与えないため、気軽に参加することができる。一方でデメリットとしては、現地の学生との交流が少ないこと、現地の文化に直接触れることができないことが挙げられる。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
<p>プログラム参加前は、プログラム終了後の目標や展望については何も考えていなかった。なぜなら、このプログラムに参加した理由は、英語を話すことに興味があったことと、SDGs について学んでみたいという漠然とした理由しかなかったからである。さらに、将来就きたい職業についても考えていなかった。しかし、プログラムが終了した今、小さな目標が生まれた。それは、もっと英会話を上達させたいということである。このプログラムで現地の学生や先生と英語で話すことを通して、異なる文化を持った人と会話し、相互に理解することの楽しさを実感した。より多くの人と英語で会話し、意見交換したいと思うようになった。また、具体的な職業は不明だが、英語を使用する職業にも興味を持つようになった。今後も英語学習を続けたい。</p>	

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	カリフォルニア大学デービス校オンラインプログラム GAIC
所 属	文学部史学地理学科西洋史学専攻 2 年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)	
<p>今回の留学を通して SDGs やアメリカの文化について多く学んだ。日本にいただけでは気づけないことも多くありいい経験ができたと思う。SDGs など日本語で学んでも難しい問題について英語でグローバルな視点で学ぶことができ楽しかったと感じる。自分の 1 番の目標だった英語への苦手意識をなくすという点では達成できたと思う。確かに 1 ヶ月間何回も辛いと感じたこともあったがそれでもなぜかこのままではいけない勉強しなければという意欲が自然と湧いてきた。英語が苦手だからという理由で何か変わるわけではなく自分から学ばなければ何も変わらないという当たり前のことを再認識させられた。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)	
<p>私は普段から平日にしる休日にしる午前中ほとんど寝てしまっていたり 1 日を通して勉強する機会がほとんどなかったがこの留学を始めてから休日の授業のない日でも朝の授業の始まる時間に起きて単語の勉強を自主的にすることがとても多くなったと感じる。そして、普段から自分に関係ないと思っていた SDGs の中で学んだことについて自分に何ができるかを考えてそれを実践できる様になっていたことは自分自身一番驚いている点である。さらに、留学を一緒に乗り越える仲間ができたことが大きかった。英語が聞き取れないこともあるが自分から話しかけて友達を作って疑問点や課題について気軽に話せる仲間ができたことは留学を乗り越えられた大きな要因だったと思う。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)	
<p>私は一番のメリットとして有意義に時間を過ごすことができるという様に感じた。午前中は英語を学んで午後はバイトをしたり部活をしたりダラダラしていた日々を変えることができたと思う。そして、金銭的に安い値段でとてもいい経験ができると思う。参加してみなければ得ることのできなかつた考え方など多くあった。デメリットとしては学ぶことが限定されてしまうことだと思う。現地では一日中英語の環境で長い時間学ぶことができる。しかし、オンライン留学はパソコンを閉じれば日本語にも立ってしまうのだ。そして、目が疲れることもデメリットだと思う。ずっと画面を見ているので目が痛くなることが何度もあった。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
<p>今度は何か行動しなければ変わらないということに気づいたので毎日単語を覚えるなど英語に触れることを大切にしていきたい。そして、今回のプログラムに参加したことで現地への留学をしてみたいと考えている。学ぶことが限定されてしまうことはデメリットとして感じた。では、長期などで現地に行った場合これ以上に学ぶことが多くあることはとても良い経験ができるのではないだろうか。そして、私の将来の目標である世界に目を向けた事業で会社を立ち上げるとい夢を実現するためにより多くのことを日本に限らず、他の国と比較するなどして学んで行く必要があると感じた。</p>	

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	カリフォルニア大学デービス校オンライン研修 (I-STEM)
所 属	理工学部 物理学科 2年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>I-STEM コースに特有の2つの授業について記します。</p> <p>1. Hot Topics in Science and Technology 科学的な話題についての学習やディスカッションを行いました。自分の意見を考えて発表し、他人の意見を聞き質問やコメントをするという一連の流れを英語で行うのは大変でしたが、それを通じて英語力が向上しただけでなく、拙くても何かしら自分の意見を伝えることの精神的なハードルが下がったことが一番の成果だと思います。</p> <p>2. Introduction to entrepreneurship in the U.S. Airbnb, netflixなどの会社を例として、スタートアップ設立の経緯やアントレプレナーシップを持つことについて学び、最終的にはグループに分かれてビジネスアイデアの発表を行いました。理系の間人だと普段扱うことのない内容だったので非常に興味深かったですし、毎日の些細な出来事にアンテナを張る意識が身についたと思います。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>毎週の conversation club ではブレイクアウトルームに分かれて UC Davis の学生とお話ししました。会話を楽しむことがメインの雰囲気だったので、お互いの専攻や研究分野について深く掘り下げて話すようなことはあまりなく、趣味や嗜好などについてよく話しました。それゆえ現地学生の普段の生活や過ごし方について沢山の情報を得ることができたわけではないですが、ある程度の現地生活のイメージを抱くことができましたし、生の声を聞くことで日米の大学制度の違いなどについて理解が深まった印象があります。このクラブでは現地学生だけでなくほかのグループの日本人学生とも関わりを持つ非常に良い機会だったと思います。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>実感した大きなメリットについては①参加費が抑えられること、②普段の生活と両立しながら参加できること、が挙げられます。特に個人的には2つ目の恩恵が大きかったです。オンライン授業の特性上、予定を組む際にほとんど負担にならず、アルバイトや帰省をしながらも毎回出席することができました。</p> <p>デメリットについては①機械的な問題が起こると支障が出ること、②普段の生活と大きな環境の変化がないこと、の2つを主に感じました。②については自分は現地派遣型の留学経験がないので比べることはできませんが、授業が終わってしまえば環境はいつもと同じなので、長期的にモチベーションを維持することはやはり派遣型に劣ると思います。</p> <p>しかしデメリットを鑑みたくえでも、個人的にはオンライン研修は十分効果があると感じました。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>研修前に設定した5つの目標については、5つともおおむね成長したと感じます。</p> <p>特に、自分の意見を発表し、英語でのディスカッションは、普段の授業ではほとんど行わないので当初はなかなかスムーズにできませんでしたが、回を追うごとに慣れることができました。しかし、いまだに意見を簡潔に伝えることができなかつたりそもそも意見や質問が思いつかない場面もあるので今後改善させる必要があると感じています。</p> <p>また、「世の中の潮流に関心をもつこと」も目標の一つだったのですが、授業中で様々なトピックについて扱うことで、自分の関心の対象が広がったと思います。これまでは自分の専攻分野以外には興味を持てていなかったもので、視野を広げて知識を吸収していきます。</p> <p>今後の目標としては、グループの中心としてディスカッションを進めていく能力を習得したいと感じています。ディスカッションにうまく参加するという段階から一歩進んで、自由闊達に議論ができるにはどのように運営していけばよいかなどを考えていきたいです。</p>	

明治大学 2021 年度【春期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	カリフォルニア大学デービス校 GAIC コース
所 属	国際日本学部 国際日本学科 1 年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)	
<p>私は Global awareness & Intercultural communication というコースに参加しました。Hot topics in American culture という授業では、アメリカの社会問題について学びました。Black lives matter や me too movement など SNS を中心に世界中へ広がった人種やジェンダーに関する問題についてディスカッションを通して意見を交換したり、日本の現状と比較したりしました。Intercultural communication skills という授業では、文化とは何か、異文化間コミュニケーションの方法について学びました。自分自身が自分の文化についてどう考えているのかなど、自分の考え方について見つめ直す機会になりました。Global awareness through SDGs という授業では SDGs の中のいくつかのターゲットについて学びました。貧困、環境問題、男女格差などの世界の現状について学び、解決策を考えました。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)	
<p>Zoom を使った留学でしたが、私の想像以上にコミュニケーションを取ることができ、十分に学ぶことができました。授業には、カリフォルニア大学デービス校の student assistants の方々が参加してくださり、一緒にディスカッションをしてアメリカの現状について教えてもらうことができました。また、週末にあった conversation club では student assistants の方々とフリートークをする機会がありました。アメリカの大学生の生活やデービス市などについての話を聞けたり、日本のことについて教えたりと、情報交換することもできました。実際に現地に行く留学に役立つ情報を得ることができました。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)	
<p>オンラインプログラムのメリットは時間を有効に使えるという点です。私が参加したプログラムは、毎日朝 8 時から昼 12 時までだったので、午後は課題以外にもバイトなどに使うことができました。また、対面で大人数の前で発言するよりもオンラインの方が発言しやすいと思います。ミスを恐れずに積極的に発言することで、英語も上達できたと思います。デメリットは時差を考えることが大変だったということです。カリフォルニアとは 17 時間の時差があり、提出期限などの時間を管理することが大変でした。また、オンライン留学中にサマータイムが始まり、急に 1 時間ずれたこともありました。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
<p>プログラム参加前は、このオンライン留学で SDGs についての知識を深めたいと思っていました。このプログラムを通して、さらに自分で SDGs について調べ、自分の意見を持てるようになりたいと思いました。プログラム中はたくさんディスカッションをする機会があり、自分の意見を述べることや、色々な意見を聞くことの楽しさを知ったので、今後もそういった活動をしていきたいと思っています。また、英語についても、もっと勉強したいと思いました。ネイティブのスピードについていけるぐらいのリスニング力をつけ、自分の言いたいことが十分に伝えることができるぐらいのボキャブラリーを身につけたいと思いました。</p>	